

令和6年度 教科指導計画表

学 年	科目名	単位数	担当者名	使用教科書・副教材
第3学年	英語コミュニケーションⅡ	3	梅田好章	COMET English Communication II

育成を目指す3つの目標

知識及び技能	<p>教科の目標</p> <p>①外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。</p> <p>②コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。</p> <p>③外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。</p> <p>英語学習の特質を踏まえ、以下に示す、五つの領域別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、上・中・下及び①及び②に示す資質・能力を一体的に育成するとともに、その過程を通して、③に示す資質・能力を育成する。</p>
思考力・判断力・表現力	<p>(1) 聞くこと ア 日常的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、話の展開や話し手の意図を把握することができるようにする。</p> <p>イ 社会的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができるようにする。</p> <p>(2) 読むこと ア 日常的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図を把握することができるようにする。</p> <p>イ 社会的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができるようにする。</p> <p>(3) 話すこと ア 日常的な話題について、使用する語句や文、文法の理解などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを詳しく話して伝え合うやり取りを続けることができるようにする。</p> <p>[やり取り] イ 社会的な話題について、使用する語句や文、文法の理解などにおいて、一定の支援を活用すれば、開くたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理的に注意して詳しく話して伝え合うことができるようにする。</p>
学びに向かう力、人間性	<p>(4) 話すこと ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理的に注意して詳しく話して伝えることができるようにする。</p> <p>[発表] イ 社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、開くたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理的に注意して詳しく話して伝えることができるようにする。</p> <p>(5) 書くこと ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理的に注意して複数の段落から成る文章で詳しく書けることができるようにする。</p> <p>イ 社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、開くたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理的に注意して複数の段落から成る文章で詳しく書けることができるようにする。</p>

	予 定	時 数	実 施	時 数
1 学期	Lesson 1 Places Worth Visiting / Lesson 2 Iwago Mitsuaki 小テスト 単語テスト 中間考査 / 期末考査	24		
2 学期	Lesson 3 The Haka / Lesson 4 Digital Detox 小テスト 単語テスト 中間考査 / 期末考査	28		
3 学期	Lesson 5 Goal Setting / Performance Test 小テスト 単語テスト 学年末考査	19		

評 価

評価の観点	評価の観点の趣旨
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。 外国語についての音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。
思考・判断・表現	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。
主体的に学習に取り組む態度	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

評 価 方 法

① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
考査及び小テスト (穴埋め問題) 単語テスト・ライティングテスト	考査及び小テスト (自由記述問題) スピーキング・ライティングテスト プレゼンテーション	スピーキング課題・ノート提出 自主学習・単語テストの平均得点率

観点別評価パターンと評定

AAA	5	ABB	BBB	BCC	2	<ul style="list-style-type: none"> 評価の観点①②③の順である。 左記パターン以外は、教科担当の審議により評定を出す。
AAB	4	BAB	BBC	CBC		
ABA		BBA	BCB	CCB		
BAA		CBB	CCC	1		